

Access

第 57号

2024年(令和6年)9月2日

交流・体験を通して身に付けたい大切な力

黒部市帰国児童生徒教育研究会
副会長 柴田 由明
(黒部市立清明中学校 校長)

本市における教育大綱の中の「学校教育の充実」に国際化教育が位置付けられ、「国際感覚と実践的なコミュニケーション能力を有し、社会に貢献できる人材を育成する」ことが目標として掲げられています。そして、この「国際感覚」と「実践的なコミュニケーション能力」を有した児童生徒を育てるために、「基礎力養成」「実践力養成」「体験・交流」の3つの柱を据え、各種事業が展開されています。

英語の音声に慣れ、コミュニケーションの基礎を身に付ける「基礎力養成」において、小学校1年生からの英会話をはじめ、ALTやJET、JATの配置は他とは比較にならない充実度です。また、多くの先生方のご尽力により作成される「年間指導計画」も秀逸なものです。

基礎的な力を生かす場として、「英語サマーキャンプ」や「姉妹都市交流研修」、「児童センターでの英語活動」等の魅力的な教育プログラムが展開されており、身に付けた力を実践できる場が整備されていることも本市の特色の一つであると考えます。

「姉妹都市交流研修」では、隔年でメコン・ビブ郡へ中学生を派遣していただいています。近年の希望者数は、派遣予定者数の4~5倍と、海外や英語への興味関心の高さがうかがえます。修学旅行では、英会話ミッションを活動に取り入れ、外国人旅行者との会話を楽しんでいます。初めは物怖じしている生徒も、一つの会話をきっかけに黒部のことを伝えたり、外国人が感じた日本のよさなどを聞いたりしています。

また、小学校5・6年生、中学校1年生を対象とした「英語サマーキャンプ」への参加

希望も増えており、今年度は予定枠を拡充して多くの児童生徒に体験の場を確保していただきました。身に付けた英会話のスキル等を実践する場、さらに見識を深める場を整えています。

市内には、帰国児童生徒や外国人児童生徒が多く在籍しています。彼らが身に付けた外国語や母国語の語学力や国際感覚を私たちは生かすことができているのでしょうか。もちろん、彼らが学校生活や教科等の授業を理解する上で必要な日本語を習得できるよう支援することも大切です。しかし、彼らのよさを生かし、周りの子供たちの国際感覚等を磨くことができているのでしょうか。

今の時代、ウェブ会議ツール等を使用し、教室にいながらにして、海外の子供たちと同じ場所にいるかのように、相手の姿を見ながら会話をすることができます。このような交流は、国際理解の促進や実践的な語学学習など、多くの教育的効果をもたらします。併せて、身近にいる貴重な体験、経験をしている子供たちとの関わりから学ぶ機会も大切にしたいと思います。

これからの時代を生きる子供たちには、自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観をもつ人と協働しながら課題を解決する力が求められます。同世代の子供たちが様々な交流・体験を通して、異文化を理解し、多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成すること、他者と協働して世界的な課題の解決に取り組む姿勢を育むことが大切だと考えます。

「中国の小学校生活 ～40年前から今～」



1997.12 来日
 1999-2004 金沢大学 修士、博士
 2004-2007 金沢大学
 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 研究員
 2007- YKK 株式会社
 家族 4 人と猫一匹

2024年5月23日(木)
 李 鵬 氏

子供2人は日本生まれ、日本育ち



小学校生活:40年前(李さんの場合)

1日の生活

6:00 起床、ランニング、勉強
 7:00 朝食
 7:30 登校
 8:00~12:00 午前授業 4限、40分/限
 12:00~14:00 昼休憩
 いったん家に帰って、食事、昼寝、再び学校に行く
 14:00~16:30 午後授業 2, 3限
 16:30~ 勉強、遊ぶ
 18:00 夕食
 19:00 テレビ
 19:30~21:00 勉強
 22:00 就寝

大学団地中の生活

- ・朝一は朗読の時間
- ・全校のラジオ体操
- ・下校前教室掃除
- ・集団下校、登校は個別
- ・目の体操
- ・高学年は部活ある
- ・中学校入試
- ・先生は教科ごと担当

大学団地

附属側

幼稚園、小学校、
 中学校、高校、
 住宅棟、行政棟、
 病院、スーパー、
 老人ホーム、
 宿泊施設など

大学側

研究棟、学生寮、
 食堂、図書館、
 体育館、グラウンド、
 プールなど



小学校生活:現在

授業	英語(週2、3)、健康、デジタルなど新設、体育の強化(週2→週4、5)
宿題	量が減少(塾、オンライン教室利用者多い)
給食	一部の学校である
遠足	安全面などを考慮して、なくした
PTA(2010年~)	保護者積極的参与
デジタル活用	デジタル教材 Wechat グループ

クラスごと担任先生と保護者
 連絡(宿題、週末課題、集金など)
 宿題提出やテストの番数の個別連絡
 メッセージは先生しか送れない
 仕事用とプライベート用スマホ2台持ち

母語の維持について

母語とは・・・
 「幼児期に最初に習得される言語」
 英語では、「mother tongue」や「native language」

母国語とは・・・
 「自分の国の言語」
 自分が属している国の言語



母語を維持する方法として下記の(1)(2)等の方法がある。

李さんの家庭では子供たちの母語を維持するために、(1)のことを積極的に行っている。

- (1) 環境を作る、自然に身に付ける (2) 言語の勉強も重要(教室やオンライン)
- ・家庭での中国語の会話
 - ・休みの帰省



学校への要望

学校全体の異文化の理解
 母語教育や多言語の教育の取り組み
 学校内、教室内、友だちとの会話でも母語を使えるような環境づくり
 (いろいろなことばが見聞きできる環境を普通のことと思えるよう)



第1回保護者会

6月15日(土)に第1回保護者会を行いました。6名の保護者が参加されました。下記のようなことが話題となりました。

【体験入学について】

- ・日本とアメリカのシステムの違いを楽しみながら、学んでいる。
- ・日本語より英語の方が強いので、日本語で物事を説明することが難しく、困っている。
- ・同じ学年の子供と比べて、日本語の語彙数が少ないと感じる。英語も維持しつつ、日本語も頑張りたい。
- ・充実した体験入学生活を送っている。

【言語について】

- ・海外で生まれた。せっかく身に付いている英語を忘れてしまうのではないかと心配している。英語を維持できるよう、英会話教室に通ったり、テレビを見るときは、英語で見せたりしている。幼稚園では、馴染んで楽しく生活している。
- ・いろんな国で過ごしてきた。言葉が遅いような気がする。住んでいる国が変わるからなのか、発達上の問題なのか少し心配している。
- ・家では両親共に中国語を話し、親子間も中国語でコミュニケーションをとっている。友達とコミュニケーションがとれるか心配していたが、小学校で仲良く過ごせているみたいで安心した。

【人間関係について】

- ・海外では、子供同士で遊ばせたい時は、まず親同士で遊ぶ約束をする。日本では、子供同士で遊ぶ約束をしてくるから、子供の友達の親を知らないこともある。親同士の距離感、共通の話題、笑いのツボの違いなど、海外と日本とでは違う事があり、どうしたらいいかなと迷う時がある。



サマースクール2024

令和6年 8月1日(木)



8月1日(木)にサマースクールを行いました。今年は24名の方が参加され、賑わいました。中央小学校に集合し開校式を行い、YKK センターパーク、くろべ牧場まきばの風で見学したり、体験したりしました。くろべ牧場まきばの風では、自分でアイスクリームを作りました。みんな「おいし〜い!!」と世界に1つだけの自分のアイスクリームをいただきました。

サマースクールで一番心に残ったことは、自己紹介ゲームとアイスクリーム作りです。いろんな人が私に話しかけてくれてうれしかったです! アイスクリーム作りですごくおいしいアイスクリームが食べられてよかったです。アイスをかきまぜるのが楽しかったです。(参加児童の絵日記より)

自己紹介ゲーム

アイスクリーム作り



今回のサマースクールでアイスクリームを作ることが楽しかったです。食べたらおいしかったし、作り方が分かりました。(参加児童の絵日記より)

ぼくは、サマースクールで友達をついたり、アイスを食べたりして、とてもいい思い出になりました。アイス作りがむずかしかったけど、みんなと協力しておいしいアイスができて、とてもうれしかったです。(参加児童の絵日記より)

とても楽しいアイスクリーム作りができました。先生方や他の保護者と交流をもつことができとても楽しかったです。(参加保護者のアンケートより)

順番にハンドルを回してアイスクリームを作るぞ!!

あま〜い!
おいし〜い!

おいしくなあれ!
おいしくなあれ!



国際理解 ちょっといい話



それって「当たり前」？ ～体験入学の児童との関わりを通して～

アメリカから2年生と5年生の兄弟が体験入学にきました。滞在していた1か月の間に、この二人から新たな視点から見るたかせ小学校(日本の学校)を教えてくださいました。

アメリカでは、登下校も友人の家に遊びに行くのも自家用車で行き来するため、集団登校や雨の日の合羽や傘が珍しく、たかせ小の「当たり前」がとても新鮮だったようです。5年生の兄は、給食当番も楽しみ、宿泊学習にも参加し、毎日いろいろな文化に積極的に触れていました。2年生の弟も戸惑いながらも友達との活動を通して、折り合いをつけながら日本の学校のルールに慣れ親しむようにしていました。二人の体験入学は、たかせ小学校の子供たちにとっても相互理解を深め、互いの文化をよさとして認め合うよい機会となりました。



(黒部市立たかせ小学校 教諭 宮崎 史夏)

「知りたい、伝えたい思いを大切に」



「〇〇くん、アメリカで今なにやってるかなあ。どんな勉強をしているかな。」本学級では、よくこんな話題を耳にします。4月の終わりに海外に転出した友達がいたことをきっかけに、本学級の子供たちは、海外の学校生活や食べ物などに興味をもつようになりました。また、お別れの際に、英語で手紙をやりとりしようとする約束したことで、この言葉を英語で話してみたい、書いてみたいという気持ちも高まっています。

まだ、2年生ということもあり、知っている言葉や表現も少ないですが、海外のことを知りたい、自分たちのことを伝えたいという思いは日に日に強くなってきています。知りたいことがある、伝えたい人がいるということは素敵なことです。その思いを大切にすることが、国際理解教育の第一歩ではないかと思います。

(黒部市立石田小学校 教諭 高島 綾子)

ザンダー先生、タラ先生 ありがとうございます!



お2人の ALT が7月末に退任されました。お世話になりました。

A Happy 5 Years

Alexander Fuller (ザンダー先生)

I really enjoyed my 5 years in Kurobe and I'm very happy to have made so many friends here. I loved working with students and teachers, and I now plan to become a teacher in the US as well. I think Kurobe has the prettiest scenery in the prefecture and we have the quaintest community, and I can't thank Kurobe enough for allowing me to be here for so long. I wish everyone the best and I hope I can see you sometime in the future.

私は黒部での5年間を本当に楽しみ、ここでたくさんの友達ができたことをとても嬉しく思っています。私は子供たちや教師と一緒に活動することが大好きで、今、アメリカでも教師になろうと考えています。黒部は県内で最も美しい景色と最も趣のあるコミュニティがあると思います。長い間、ここにいさせてくれた黒部市には本当に感謝しています。皆様のご多幸をお祈りし、将来またお会いできることを願っています。



Thank you very much for everything

Tara (タラ先生)

Kurobe is my favourite place in Japan out of everywhere I have been in the past year. The people here are so special, and the community is welcoming beyond belief. Even after just a year, I feel as though I'm leaving behind a special home here. Thank you very much for everything.

黒部は、この1年間に訪れた日本のいろいろな場所の中で、私の一番のお気に入りの場所です。黒部の人たちはとても特別でコミュニティの人たちは信じられないほど、温かく迎えてくれます。たった1年しか経っていませんが、ここを離れることで、特別な故郷のような気がしています。本当にありがとうございました。

